



# 第七中学校

校長 柏木 圭子

## 成長の機会

校長 柏木 圭子

忙しかったけれども充実した3ヶ月が過ぎ、夏休みまであと3週間を切りました。6月13日から17日まで実施した学校公開週間にいらっしゃった方からは、「生徒が授業を真剣に聞いている。」「気持ちのよいあいさつをする生徒が多い。」など、たくさんのお褒めの言葉をいただきました。また学校説明会には、100名近くの方にご参加いただき、本校の教育活動についての説明を聞いていただきました。

先日、小中連携研修で小学校に伺う機会がありました。それぞれの学年の児童の姿に接し、身体の大きさ、声の高さ、そして行動の違いに改めて義務教育9年間の子どもの成長の大きさを感じました。

宿泊行事や体育祭のような大きな行事はもちろんですが、日常の様々な経験をとおして生徒たちは学び、成長していきます。学校では、授業中の話し合い活動、係・委員会活動、当番活動、部活動など人と関わる場面がたくさんあります。そういった場面をとおして、自分自身の特性を知ると共に、自分とは異なる考えをもった人がいることに気づいたり、気持ちの上手な伝え方や集団でのルールを守ることなどを学んだりしていきます。

そう考えると学校って楽しいところだなあとわくわくしてきます。学校だからできることは何かを考え、これからも生徒たちが様々な経験ができる機会をつくっていききたいと思います。

## もりもり給食ウィーク

6月20日(月)から24日(金)はもりもり給食ウィークでした。足立区では日頃からおいしい給食に取り組み、残菜を減らす努力をしています。もりもり給食ウィークの期間は給食の時間を5分長くし、残さず食べるように工夫しています。

本校では、学校経営計画の重点的な取組事項の一つを「健やかな身体の育成」としています。特に今年度はSDGsへの取組をとおして食への関心を高める指導をしています。そこで今回のもりもり給食ウィークでは「SDGsと給食について考えよう」をテーマにした献立を組み込みました。20日(月)の献立はSDGs目標3「すべての人に健康と福祉を」をテーマにした「ご飯、ひじき入り卵焼き、しらす入りおひたし、豚汁、牛乳」の和食の献立でした。それぞれの人が生涯を通じて健康に過ごせるような食習慣を身に付けられるようにとの願いを込めた献立です。

また給食室前の廊下にはペットボトルのキャップ回収ボックスを設置し、世界の子どもたちへのワクチン接種の一助としていただいています。



## 修学旅行

6月9日（木）から11日（土）、3年生が修学旅行に行ってきました。初日の6月9日には法隆寺、東大寺を見学し、奈良で宿泊。世界最古の木造建築である法隆寺では、五重塔や金堂の見学をしたり、百済観音をはじめとする国宝を拝観したりしました。また東大寺では大仏の大きさにびっくりしながらも、鹿に鹿せんべいをやって楽しむ時間もありました。夕食後には東大寺二月堂まで散策に行き、吊り灯籠のかかる二月堂舞台から奈良の町を眺めたり、夕闇に沈む東大寺の境内を通ったりして、いにしえの風情を味わいました。

2日目の10日は、班ごとに奈良から京都まで移動、平等院や伏見稲荷、清水寺、八坂神社など班で決めたコースにしたがって見学しました。とても暑い日でしたので体調が心配でしたが、全員、無事に三条大橋の近くにある宿舎に到着することができました。夕食後は絵付けの体験学習を行いました。

最終日は班ごとにタクシーを使って行動しました。金閣寺、北野天満宮、天龍寺など、電車では行きづらい方面を選んで、運転手さんに案内していただきました。奈良、京都では、教科書に載っていた場所を実際に訪問し、見学することで、日本文化の美しさや素晴らしさを感じてくれたのではないかと思います。

3年生は、昨年度、魚沼自然教室、鎌倉校外学習を経験し、学習の仕方や班行動のルールなどを学んできました。その成果を一人ひとりが出せた修学旅行にできました。3日間の経験を残り9ヶ月の中学校生活に生かしてもらいたいです。



## 開かれた学校づくり協議会

6月23日（木）、今年度第1回開かれた学校づくり協議会を開催しました。「開かれた学校づくり」は学校・家庭・地域の皆様が力を合わせて地域性を生かした特色ある活動を進め、新しい時代を切り拓く児童・生徒の「たくましく生き抜く力」や「豊かな心」を育てていく取り組みです。足立区では全校に「開かれた学校づくり協議会」を設置し、区をあげて取り組んでいます。

23日に開催した開かれた学校づくり協議会では、教育委員会から委嘱状の交付、会長の承認、委員の皆様からの自己紹介に続き、校長から学校経営計画の説明などを行いました。

委員の皆様、1年間よろしくお願いたします。

## マスクの着用について

気温が高い日が続く、熱中症が心配されます。熱中症対策を優先し、マスク着用の必要がない場面では、マスクを外すようお声がけください。

裏面に「子どものマスク着用について」のリーフレットを載せますので、ご覧ください。